

ツーリングワゴンの基本レイアウトは、なぜ4WDなのでしょう。

4WDを基本にしているワゴンはツーリングワゴンだけではないでしょうか。

スバルは、グランドツーリングカーの走りの楽しさを裏付けるアクティブセーフティとして、第一に4WDを考えています。

その第二の解答として2WDにはTCS(トラクションコントロールシステム)を新たに用意しました。

楽しく走るということは、安全に走るということでもあるのです。

天性の素質でハイパワー4WDを実現する

スバル4WDシステム。

スバルが4WDシステムをリードしている理由のひとつが、縦置き水平対向エンジンと4WDの組み合わせによるパワートレインです。シンプルで効率的であるという天性の素質がそこにあるのです。エンジン、トランスミッションからリヤデフまでがストレートに駆動。しかも重量バランスに優れた左右シンメトリー。そのため、ハイパワーエンジンによって起こりやすい振動、騒音、フリクションなどの諸問題もスムーズに解決することができました。

VTD*-4WDシステム(不等&可変トルク配分)

電子制御4WD)

(GT、GT/B-specのAT車)

VTD-4WDは、高い安全性を確保しながら、スポーティな走りの楽しさをさらに高度に求めて生まれた4WDシステム。ハイパワーを確実に路面に伝えるという4WD本来のスタビリティ(走行安定性)はそのままに、FRにも勝るナチュラルでスムーズな旋回性能を手に入

れました。そのメカニズムは、通常、センターデフが後輪65/前輪35でトルクを配分。低 μ 路やコーナリングで、タイヤのグリップが失われた場合は、瞬時に判断して、前後輪のトルク配分を走行安定性が高くなるように最適に制御します。この革新の4WDによって、グランドツーリングカーは、よりファンtoドライブへと進化しました。

*VTD=Variable Torque Distribution

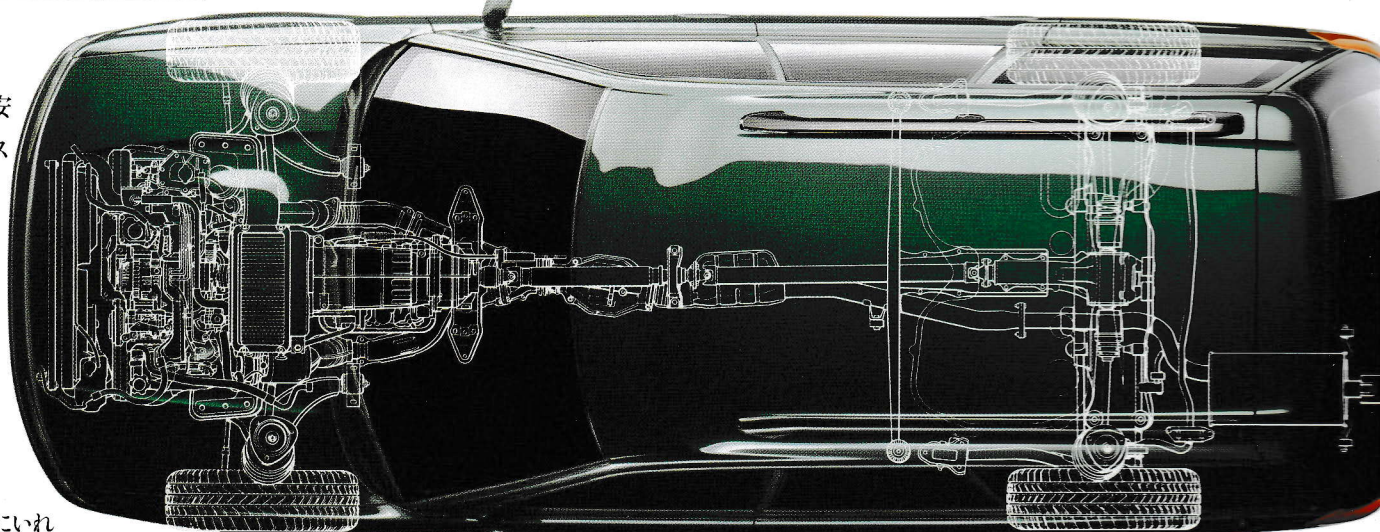
電子制御フルタイム4WD[アクティブトルクスプリット4WD](GT、GT/B-specを除くAT車)

前後輪のグリップの変化や車速、アクセルの踏み具合などをセンサーが感知し、リアルタイムで電子制御により前後輪へのトルク伝達をアクティブ制御。水溜まりや、凍結など、ところどころ路面 μ が大きく変化している場合なども、極めて安

定して走ることができます。またE-4AT、ABSとの関連制御も実現。高度なスタビリティに支えられたハイスピード・イージードライビングの魅力を存分に楽しむことができます。

ビスカスLSD付センターデフ方式フルタイム4WD (MT車)

高度な運動能力を引き出すマニュアルトランスミッションのためのフルタイム4WDです。通常はセンターデフが前輪50/後輪50の比率でトルクを等配分。低 μ 路やコーナリングでグリップが失われた場合に、路面状況や走行状態に応じてビスカス式のLSD(リミテッドスリップデフ)機構によってトルク配分を最適制御。状況に応じて最大のトラクションを得ることができます。

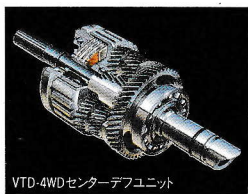


パワートレインイメージ イラスト(GT)

E-4AT =7ポジション

電子制御4速フルオートマチック

上質なグランドツーリングカーにふさわしい、滑らかな変速フィールと意思のままにパワーを引き出せる高度なリアリティを実現した高機能電子制御ATです。スポーティに操作できる7セレクトポジション(1・2・3・D・N・R・P)を採用。シフトパターンはセレクトレバーのスイッチで、エンジンの高回転域を自在に使えるパワーモードも選択可能。また、スノーモードホールドスイッチを新設定。Dレンジで2速発進なり、雪道など低 μ 路での発進に威力を発揮するほか、1・2・3レンジではそれぞれのギヤにホールド。セレクトレバーを駆使したマニュアル感覚の走りも楽しめます。



VTD-4WDセンターデフユニット